

# 悪性腫瘍および炎症性疾患病変組織内における制御性T細胞の免疫反応への影響の解析に関する研究

## 1. 研究の対象

2017年6月から2019年3月までに大阪大学歯学部附属病院で口腔がんの手術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

【目的】がんに対する免疫応答の研究によって、がん抗原(がん細胞特異性に発現されている抗原)の発見・同定と、それに対して特異的に反応するTリンパ球をはじめとする種々の免疫反応因子の存在が明らかにされています。一方で制御性T細胞は本来過剰な免疫反応を抑制し、適正な免疫状態を維持する目的で存在していますが、近年では血液や腫瘍組織中において制御性T細胞が免疫反応を抑制し、結果的に腫瘍の増殖を助けると言われています。しかし口腔がんにおいてもその機能的・直接的解析は十分に行われていません。本研究では、手術などにより得られた病理組織標本から制御性T細胞をはじめとした免疫反応因子を解析し、口腔がんの臨床病態解明を目的とします。

【方法】カルテ情報から術前・術後の経過、手術内容、予後に関する内容と、病理組織標本を使用して制御性T細胞を中心とした免疫反応因子や関連する遺伝子、タンパクなどの量などを解析させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは一切行いません。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用などの発生状況、カルテ番号 など

試料：手術などで摘出・切除した組織標本

## 4. 外部への試料・情報の提供

提供：データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当科の研究担当者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

臨床腫瘍免疫学講座	和田 尚
免疫学フロンティア研究センター	坂口 志文
薬学研究科	辻川 和文
東京医科大学	佐藤 永一
東京大学	垣見 和宏
理研横浜研究所	本田 賢也

麻布大学  
塩野義製薬

森田 英利  
柳楽 盛男

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学歯学部附属病院 口腔外科学第二教室

相談窓口：森田祥弘

住所：大阪府吹田市山田丘 1-8

連絡先：06-6879-2941

研究責任者：

大阪大学歯学部附属病院 口腔外科学第二教室 鶴澤成一

研究代表者：

大阪大学医学部附属病院 消化器外科教室 土岐祐一郎